

平成27年度 入学式

ご入学おめでとうございます!

神奈川歯科大学並びに神奈川歯科大学短期大学部合同の入学式が平成27年4月3日(金)に挙行され、歯学部115名(新入生101名、編入生14名)、短期大学部184名(歯科衛生学科101名、看護学科83名)、総勢約299名の入学生が期待を胸に、大学生活の第一歩を踏み出しました。本学は今年で創立105年を迎え、式典開始前にはその歴史や学内に咲く四季折々の花々の映像、人体の神秘を実際に見て感じる事のできる『神奈川歯科大学資料館』が紹介されました。

開式後の学長式辞で平田幸夫学長は、「先日国家試験の合格発表があり、歯学部・歯科衛生学科・看護学科共に全国平均値を大きく上回る合格率でした。皆さんの先輩方はその国家試験に合格し、4月1日から医療人として仕事をしていますが、『真の医療人』という観点から観ればまだまだ未熟です。どのような点が未熟なのか。それは『患者様から信頼を得る』という点です。では、患者様から信頼を得るにはどうす

れば良いのか。それは『医療プロフェッショナルリズムを磨く』という事です。医療プロフェッショナルリズムには3つの要素があり、1つ目は『患者様に対する癒しの心を高める』、2つ目は『医療人としての医学的な知識・技術・態度を高める』、3つ目に『医療人としての品格を高める』ことです。

今の皆さんにはまだこの3要素は備わっていません。ただ単純に国家試験の免許取得を第一目標とするだけではなく、『医療プロフェッショナルリズム』に少しでも近づくような勉学に励んでください。皆さんが立派な医療人となれるよう心よりお祈りしております。本日は本当におめでとうございます。」と激励の言葉を述べられました。

続く理事長告辞で鹿島勇理事長は「新入生・編入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、ご父兄並びに関係者の皆様



学長
平田幸夫

方、本日は誠にありがとうございます。ご父兄の皆様方に対しては、数ある大学の中から本学を御息・御息女の学び舎としてご選択頂きました事に対し、心よりお礼申し上げます。さて、皆さんは今日からそれぞれの学部にて、医療人としての知識とその使い方である識力を身に付ける為の3年間・5年間・6年間が始まります。まずは、講義や実習を通して学年ごとに積算されていく専門知識を自分の頭で整理・分類し、あらゆる設問に対して筋道を立てて正解を導き出す論理的思考能力を身に付けなければなりません。なぜなら、進級試験・卒業試験・国家試験の正解は基本的に1つだからです。その能力を身に付けた証はやがて『卒業証書』という形で承認されることになります。その一方で、1つの正解はなく、自分にとっての正解を自分流に、最大公約数で創り上げる能力『判断力・決断力・想像力・独創力・直観力・ひらめき』等の論理的思考能力とは相対する水平的な思考能力をも身に付けていかなければなりません。その思考能力は日常の学生生活やクラブ活動を通して、これから経験するであろう様々な心

の感動や葛藤から創発されます。そしてそれは、経験値や体験値に応じて脳に個別にすり込まれていきます。その蓄積がやがて『自分は自分であり本当の自分は常に一定である』という新たな個性を生みだします。その進化した個性こそが、皆さんにとって次の時代を乗り切る為の1つの武器となりえます。本学での3年間・5年間・6年間は『加速する時代に対応する総合力を身に付ける期間』でもあることを強く認識して頂き、進級試験・卒業試験・国家試験と一気に駆け抜けてください。」と述べられました。



理事長
鹿島勇

更には、衆議院議員小泉進次郎先生より「ご入学おめでとうございます。様々な技術と知識を会得し、皆様が大きく飛躍されることを心から願っております。貴校のますますのご発展とご参集の皆様のご健勝ご多幸をお祈りいたします。」とのメッセージも届けられ、新入生は将来の臨床家を夢見ながら聞き入っていました。



新入生代表宣誓では、「学則を守り、大学の名誉を毀損せず、後進の模範となるよう自覚を持ち、学業に専念する」との宣誓がありました。最後に神奈川歯

科大学校歌が斉唱され、約1時間半の式典は無事終了しました。式典終了後、新入生の入学を祝し、スペシャルライブが開催され、『さくらさくら(日本古謡)』『オー

ソレ・ミオ(ナポリ民謡)』『Let It Go!(アナと雪の女王より)』『コン・テ・パルティロ(サラ・ブライトマン)』『乾杯の歌(歌劇・椿姫)より』…etc といった名曲

をオペラ歌手5名の方に歌唱していただきました。演奏が終わると会場が大きな拍手で包まれ、来場された方々には笑みがこぼれていました。

大学院歯学研究科入学式



大学院研究科長 槻木恵一

平成27年4月3日(金)午後2時より、神奈川歯科大学大

学院歯学研究科の入学式が挙行され、新入生17名(本科生11名、社会人大学院生6名)が新たなスタートを切りました。今年度より本科生に留学生1名が入学致しました。入学式では平田学長より式辞が述べられ、槻木研究科長よりご挨拶をいただき、伊藤教授より祝辞をいただ

きました。新入生たちは期待に

胸を膨らませていました。



平成26年度 卒業式

ご卒業おめでとうございます!

神奈川歯科大学並びに神奈川歯科大学短期大学部共同の卒業式が平成27年3月17日(火)に大講堂で挙行されました。今年度の卒業生は歯学部70名、短期大学部149名(歯科衛生学科64名、看護学科85名)総勢219名でした。卒業生の前で鹿島勇理事長は「卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、ご家族・関係者の方々、本日は誠にありがとうございます。卒業生の皆さんは今日のよき日を迎えるにあたり、長きに渡って物心共にご支援下さいましたご両親に対する感謝の気

持ちを決して忘れてはなりません。皆さんは本日から新しい旅立ちをする事になりますが、今から丁度40年前、私も昭和50年歯科大学第6回生として皆さんと同じこの講堂で卒業致しました。40年と申しましても、青春を魔法の杖のように使ってこられた皆さんには余り実感が湧かない事でしょう。何十年後かの将来も心身共に健康である事を第一優先とし、正しい判断や決断、時代の流れを読み切る力を鈍らせる事無く、自己管理に十分留意してください。」と告辞を述べられました。

平田幸夫学長は「卒業生並び

にご家族・関係者の方々、ご卒業本当におめでとうございます。また、これまで学生支援にご尽力頂いた教職員の方々へこの場をお借りして御礼申し上げます。皆さんは国から免許証を交付され、4月から様々な分野でご活躍される事と思いますが、『人から信頼される医療人』を常に心がけてください。人から信頼を得る一番の近道は倫理観を磨く事であり、人を思いやる気持ちを持つ事です。人を思いやる気持ちが積み重なった時、そこに信頼が生まれ、日々の業務効率も向上するでしょう。『紙の免許証』だけでなく、患者様から信頼される事によって頂ける『心の免許証』2つ

を備えた真の医療人を目指し、日々精進してください。皆さんの健康と益々のご発展を祈念しております。」と式辞を述べられました。

また、横須賀市副市長：沼田芳明様(吉田雄人市長代理)、神奈川県歯科医師会副会長：浅川章光様(高橋紀樹会長代理)、国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院院長：長堀 薫様よりご祝辞を頂きました。式終盤には卒業生からご家族へ「感謝のことば」(今年度より実施)が伝えられ、卒業生・保護者の方々の涙する場面も見受けられました。式終了後、卒業生たちは希望に満ちた表情で講堂を後にしました。



各賞受賞



成績優秀賞(歯学部)



デンツプライ・スチューデントアワード



パナソニックヘルスケアアワード



モリタ・ハノー補綴学賞



成績優秀賞(看護学科)



成績優秀賞(歯科衛生学科)



学長賞



ノーベル・バイオケアアワード

卒業生から保護者へ
「感謝のことば」



平成26年度 大学院修了式 大学院学位授与式

平成27年3月17日(火)大学院学位授与式が挙行されました。今回学位を授与されたのは、【甲種】大田順子、多胡親孝、糠澤真壱、加藤智弘、大久保孝一

郎、蒔田哲也、石井康鉉、田中美香、武田織英、佐々木悠、本橋一彦、芹田枝里、高道麻臣、原健一郎、實吉安正、長谷川晴彦、成松侑梨、山本裕子、山崎隆一、

番家雅子、日高恒輝、林 隆司、熊坂知就、原田泰光、武内美文、林 勇大【乙種】青柳佳伸、井上吉登、吉田羊子、露木隆之、河野伸二郎、高橋雄輔の32名です。

学位授与式では、微生物感染学講座佐々木悠さんと歯周組織再生学講座日高恒輝さんは学長

賞、社会歯科学講座の大田順子さんは研究科長賞をそれぞれ受賞されました。また微生物感染学講座渡辺清子先生は優秀指導教員賞を受賞されました。学位授与式の後は、懇親会も行われ、会食をしながら学位授与者と教員がご歓談されました。



「アトミーアート」ブランディングプロジェクト 始動

横地千仞名誉教授の偉大な功績である人体標本の数々は、一昨年「人体標本と100年史」の設立を期に再び大きなインパクトを与え、100年を超える本学の歴史に新たな1ページを刻みました。開館からの入館者数は5,775名を超え、入館者は、繊細で精巧に作成された人体標本の神秘に感動されております。

横地名誉教授には、最高の解剖学者である「顔」と、もう一つアーティストとしての「顔」があり、描かれるその独創的かつ繊細なアートの数々は人体標本と並び、入館者を魅了して止みません。

今回、この横地名誉教授が描

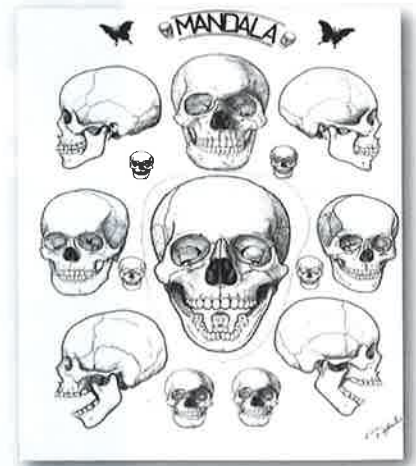
かれた「絵画」を、「アトミーアート」としてブランド化し、世界に向けて発信していく、ブランディングプロジェクトを始動させます。

プロジェクトの第一弾として、6月2日(火)に、全メディア200媒体様向けにイベントプロモーションを資料館で実施致します。その後、7月1~3日、東京ビックサイトで開催される「キャラクター&ブランドライセンス展」に出展致します。この展示会は、世界のバイヤー約5万人が集結する日本最大級の展示会であり、大きなインパクトを与える事ができると確信しております。

ブランディングの主眼は「ライセンスビジネス」であり、対企業様とのライセンス供与において収益が生じるため、KDC株式会社を中心となります。その他、アパレル・雑貨等を中心とした商品を展開し、事業を運営してまいります。現在、世界には、様々なジャンルの「ブランド」が溢れておりますが、唯一無二のブランドとして、確立してまいります。

横地名誉教授におかれましては、御歳96歳となりましたが、現在も精力的に新たな絵画を描いておられます。今回のブランディングプロジェ

クトにおいても、多大なご理解とご支援を賜っております。今後のアトミーアートの展開に、是非、御期待下さい。



CHIHIRO YOKOCHI
Anatomy/Art

※横地名誉教授自らをデザインしたブランドロゴです。

癌に強いマウスの作製に成功

畑先生の論文がネイチャー社のオンラインジャーナル Scientific Reports に掲載



神奈川歯科大学大学院
特任教授(特別教授)

口腔科学講座(口腔難治疾患研究センター)

畑 隆一郎

●我々の体内にある口腔癌抑制分子 BRAK の発見:

最近我々は種々のがん抵抗性を示すマウスの作製に成功したので、これまでの研究のいきさつを含めて記述する。

日本において国民の1/2が癌に罹患し、1/3が原因で死亡

する。その治療にかかる費用も年間3兆円を超えようとしている。現在の薬物療法は癌で悪さをする分子を見つけてその分子の発現や活性を抑える薬(抗癌剤)を見つけて治療する方法(分子標的法)が主流である。しかし、癌で増加する分子も我々の身体を構成している正常細胞の生理機能発現に重要な分子である場合が多く、抗癌剤がしばしば正常な細胞の機能を抑えてしまい、そのために強い副作用を生じる。我々は副作用のない癌の抑制法を見出すために、逆転の発想をして、身体の中には癌の増殖を抑制する分子が存在することを仮定し、その抑制分子があるために癌が発生しないが、抑制分子の量が何かのきっかけで低下すると癌が

発生する可能性を考えた。そこで癌の増殖過程で発現が低下する分子を探索し、生体内で口腔癌の抑制作用を示す分子のBRAKを見いだした。BRAKは最初にBreast And Kidney(乳房と腎臓)で発現が見いだされたタンパク質なのでBRAKとよばれていたが、のちに正常細胞であればどの細胞でも合成される白血球を呼び集める性質を持つ分子ファミリーの一つであるので、その分子の化学構造からCXCL14とよばれている。この研究は小澤重幸講師(顎顔面外科学講座)が大学院生の時に行い、彼の学位(博士)論文となった(Ozawa S. et al., Biochem. Biophys. Res. Commun. 2006)。

●BRAKを多く発現するトランスジェニック(Tg)マウスは種々の移植癌の増殖を阻害する:

BRAKが口腔癌以外の癌の抑

制作用があるかどうかを調べるために、野生型マウス(Wt、普通のハツカネズミ)にBRAK遺伝子をさらに導入してWtの10倍量のBRAKを発現するように遺伝子を改変したトランスジェニック(Tg)マウスを作製した。Tgマウスは普通に成長し、2年経ってもWtと差がなかった。しかし、悪性黒色種細胞や肺癌細胞を皮下に移植するとTgマウスではWtマウスより癌の増殖が抑制され、BRAKの癌増殖抑制作用は口腔癌だけにとどまらないことが判明した。この研究は居作和人講師(口腔科学講座)の学位論文となった(Izukuri K., Suzuki K. et al., Transgenic Res. 2010)。

●多段階癌抑制分子としてのBRAK:

一つの細胞が癌化して臨床的に癌と診断されるまでには多く

の遺伝子 (DNA) の変異やタンパク質の変化が必要であり、10年ほどの時間がかかることが知られている (癌の多段階発癌)。癌に血管が出来るのを抑えて、癌への栄養供給を阻害する薬が現在抗癌剤として良く使用されている。しかし、最近、実際の臨床例でこれらの抗がん剤が癌の増殖を抑えるが、患者の寿命は延長されない症例が判明し問題となった。原因を調べてみるとこの薬は確かに患者の原発巣の癌の増殖を抑えるが、転移や浸潤を逆に促進し、結果として癌は小さくなるが、患者の寿命は延長されないことが判明した。この結果からも癌の増殖と浸潤・転移が異なった機構で起こることがわかる。

そこで、BRAKTg マウスについて、大腸癌の発癌系、癌の増殖、肺への転移についてそれぞれ調べると、3つのすべての段階を抑制した。図に悪性黒色種細胞の肺への転移抑制効果

についての例を示した。さらに Wt マウスが 50% 死亡する条件でも 100% の Tg マウスが生存し、BRAK は寿命の延長作用も示すことが明らかになった。



野生型(Wt)マウスでは悪性黒色種の転移巣(黒い点)が多く観察されるが、BRAKトランスジェニックTgマウスの肺ではほとんど観察されない

この研究はハンガリーの首都ブダペストで開催された「国際癌免疫治療学会」で最優秀演題賞に選ばれ、また、ネイチャー社のオンラインジャーナル Scientific Reports の 2015 年 3 月 13 日号に掲載された (Hata, Izukuri, Kato, Sasaki *et al.*, Scientific Reports, 5, Article number 9083. DOI : 10. 1038/srep09083. <http://www.nature.com/srep/index.html>).

●副作用のない癌の分子標的予防法の開発に向けて：

BRAK は正常細胞で合成され

ており、Tg マウスは 2 年間飼育しても異常を示さない。また、マウスとヒトの BRAK の構造や存在量はほとんどおなじであり (実際に Tg マウスの作製にはヒトの BRAK 遺伝子を導入している)、健康人でも BRAK を常に Tg マウスと同じ位高い発現をしているヒトが存在したので、BRAK を高発現してもヒトに大きな副作用はないと考えられる。それ故 BRAK は今後の副作用のない新しい癌の分子標的治療法、さらに癌にならないための予防法 (分子標的予防法) 開発に有望な標的分子と考えられる。

私は神奈川歯科大学に赴任して以来「横須賀から世界へ情報の発信を」をモットーとして来た。今後、ヒトに応用するために、我々の身体での BRAK の合成を上げる薬の開発と BRAK の癌抑制のしくみを明らかにし、世界に発信するとともに、この過程で若い人達に研究する心を伝

えてゆきたい。

●口腔難治疾患研究センター：

本センターは神奈川歯科大学大学院歯学研究所を母体として設立され、文部科学省の『私立大学学術研究高度化推進事業』のなかの「私立大学ハイテクリサーチ・センター整備事業」として平成 17 年度～ 21 年度選定された。本研究センターは「口腔癌の進展・浸潤・転移を規定する因子の同定、作用機構の解析と診断法およびオーダーメイド医療への展開 - 口腔癌の新しい分子標的治療法の開発 -」(研究代表者 畑 隆一郎) を研究課題としている。本センターにはクリオスタット、ラマン分光光度計、蛍光顕微鏡、DNA シークエンサー、-140 度 C 超低温フリーザー等が配備されており、平成 22 年度以降は大学の共同施設として運営されている。

平成 27 年度 高度先進口腔医学講座オープンセミナー

場所：横浜クリニック (7F 大会議室)
時間：18：00 - 19：30 (講義)

回	月日	高度先進口腔医学講座	
第 1 回	2015.4.9	「ヒトの神経系より考察した口腔機能について」： 高橋 理 教授	
第 2 回	2015.4.23	「世界をリードする日本の接着剤」： 井野 智 准教授	
第 3 回	2015.4.28	特別講義 「咀嚼機能習得における臨界期は存在するのか？」仮題： 吉田教明 教授	
第 4 回	2015.5.14	「確実な身元確認をするために - 歯の所見と DNA -」： 山田良広 教授	
第 5 回	2015.6.25	「歯科臨床で使用される青色光の影響とその対策」： 吉野文彦 准教授	
第 6 回	2015.7.30	「慢性疾患重症化予防に関連した歯周病ケア」： 三辺正人 教授	
第 7 回	2015.8.6	「歯科治療中の偶発症と救急処置」： 吉田和市 教授	
第 8 回	2015.8.20	「歯科用コーンビーム CT および被曝の基本知識」： 櫻井 孝 教授	
第 9 回	2015.10.29	「歯周組織の微小循環 (仮題)」： 松尾雅斗 准教授	後期共通
第 10 回	2015.11.12	「筋肉血流量を指標とした生活習慣病のリスク分析の可能性」： 高橋俊介 准教授	後期共通
第 11 回	2015.11.26	「歯科材料の基礎と臨床の評価」： 二瓶智太郎 准教授	後期共通
第 12 回	2015.12.10	「高次脳機能活動による痛みと違和感の可視化」： 玉置勝司 教授	後期共通
第 13 回	2016.1.7	「歯周組織とインプラント周囲組織」： 児玉利朗 教授	後期共通
第 14 回	2016.1.21	「歯科臨床における三次元画像工学の応用」： 不島健持 教授	後期共通
第 15 回	2016.2.4	「外傷歯について」： 熊坂純雄 先生	
第 16 回	2016.2.25	「歯周組織のマネージメント」： 田村利之 先生	

就任挨拶



口腔科学講座内科学分野 教授
佐藤 温洋

皆様、初めまして。佐藤温洋と申します。平成27年1月より神奈川県立神奈川歯科大学に赴任致しました。内科学、特に内分泌代謝学、甲状腺学を専門としております。

私は、神奈川県立神奈川歯科大学第18期生として卒業後、縁あって東海大学医学部に編入学を致しました。卒業後は、東海大学医学部附属病院群を中心に臨床研修を行い、東海大学医学部内科学大学院に進学、多くの指導教員か

ら熱心な研究指導を受け、医学博士号を取得し、東海大学医学部附属病院群で臨床、教育、研究業務を継続致しました。この度、理事長、学長、病院長を始め多くの先生方の御好意で神奈川県立神奈川歯科大学に戻って参りました次第です。

神奈川県立神奈川歯科大学建学の精神である、「全てのものに対する慈しみの心と生命を大切にす愛の精神の実践すなわち生命に対する畏敬の念」は、医療人であれば普遍的に持つべき精神です。建学の精神を胸に抱き、歯科と医科の融合を図ることにより本学、附属病院の発展と将来を担う歯科医師を始めとした医療人育成、そして地域医療に寄与して参る所存です。何卒、宜しくお願い申し上げます。



横浜クリニック内科科長
栗橋 健夫

このたび、神奈川県立神奈川歯科大学附属横浜クリニック内科診療科長として赴任いたしました、栗橋と申します。福岡県立九州歯科大学を1987年に卒業後、一般歯科開業医として地域医療に貢献する傍ら、全身疾患を有する高齢者歯科医療に従事して参りました。そのような日々の中で、全身の診ることのできるダブルライセンスドクターを目指し1999年に東海大学医学部に学士編入学をいたしました。歯科と医科の双方に身を置くものとして、ある意味歯科界と医科界が独自の道を歩んでいると感じる時もあります。例えば抜歯をするのとどのくらい出血するのか医科の現場では見当もつかないことがほとんどです。逆に歯科医師が高血圧、糖尿病などの慢性疾患を有する患者さんの歯科治療に際し何を知らなければならないのかを伝えなければ、医

科側から、有用な情報提供は得られません。適正で科学的な歯科医療を患者さんに供給するためには歯科医科連携医療の強化が急務と考えます。現在、非常勤にて東京医科大学病院 総合診療科において、総合内科医療とプライマリーケア医療の外来診療にあたっております。多岐にわたる内科疾患も現在は臓器や疾患ごとに細分化していることが多いため、大学病院、クリニックにおけるプライマリーケア（初期医療）が注目されています。医療が高度に発展進化を遂げ、各分野の治療も日々変化し、良好な予防や治療効果をあげています。反面、高血圧、糖尿病、高脂血症、脳血管障害、循環器疾患、呼吸器疾患など内科疾患は多彩な症状をヒトに呈することもあり、何科を受診すればいいのか分からない患者さんも増えています。そのような、迷える患者さんたちの初期対応がいわゆるプライマリーケア医の大切な役割のひとつと心得ております。「患者さんにわかりやすい内科診療」をモットーにしております。体調がすぐれない、カゼをひいたが、なかなか治らない、市民、社内健診で異常を指摘された、歯科治療を本格的に開始したいが、健康に不安があるなど、患者さんのどんなことでも、ご相談下さい。

KDC株式会社 平成26年度事業報告

当社も設立8年目（現執行部になって4年目）に入り、業績も順調に進展していることから平成26年9月末での決算報告書の内容を以下に示します。

1. 平成26年度（平成25年10月～26年9月）営業実績は以下に示した通りである。

売上高

163,051,726円（前年比1.65）、
売上総利益

115,724,891円（前年比2.38）
販売費及び一般管理費

104,432,565円（前年比2.59）
経常利益

12,201,344円（前年比1.24）

当期純利益

9,797,601円（前年比1.54）

2. この結果当社の純資産額は35,048,392円（前年比1.39。対資本金比3.89）となった。

3. 各事業別の成績は下の表に示した通りである。すなわち施設管理事業、生涯研修事業および資料館管理事業を除いていずれの事業も前年比5～15%の減収であったが、4月から加わった施設管理事業費の前年度比率が大きいため、結果として総収益は前年比109.26%となった。

平成26年度事業別収支

		収入	支出	収益	前年度比 (%)
1	病院売店事業	20,808,025	14,655,897	6,152,128	73.14%
2	自販機設置事業	8,911,652	0	8,911,652	89.87%
3	施設管理事業	76,175,000	70,442,748	5,732,252	234.40%
4	教科書販売事業	37,795,256	35,056,696	2,738,560	140.62%
5	学生寮管理事業	9,590,000	2,919,439	6,670,561	87.71%
6	生涯研修事業	2,252,812	1,497,419	755,393	103.45%
7	食堂管理事業	654,376	427,256	237,120	12.53%
8	資料館管理事業	4,856,000	3,694,069	1,161,931	134.89%
	総計	161,043,121	128,683,524	32,359,594	109.26%

大学への貢献については、「1. 職員4名の転籍を受け入れた。2. 金銭的寄付は行わなかったが、掲示板などの物品寄付を行った。3. ジャカラランダフェス

ティバルや福岡祭等への協力を行った。4. ケーデイ君の着ぐるみを作成し、大学の催しに協力した。」等です。

教学部だより

歯学部

男子バスケットボール部へ 記念品贈呈

第46回全日本歯科学学生総合体育大会が行われ、本学では男子バスケットボール部が優勝しました。

これを記念し、平成27年1月6日(火)平田学長よりバスケットボール5個が贈呈されました。これからもチーム一丸となり、素晴らしい成績を残してくれることを期待しています。



短期大学部

第25回ヨーロッパ研修 パリ

短期大学部カリキュラム「海外事情Ⅰ」に基づき平成26年

12月19日(金)から8日間、ヨーロッパ研修(パリ)が実施され、歯科衛生学科生、看護学科生計56名が参加しました。世界遺産のモン・サン・ミッシェル、

フランス軍衛生部博物館をはじめ、ノートルダム寺院、エッフェル塔、凱旋門、ヴェルサイユ宮殿、ルーブル美術館などを見学し、またシャンゼリゼ通りの散

策も楽しみ、ヨーロッパの文化や歴史を肌で感じ取ることができた有意義な研修旅行となりました。



平成26年度神奈川県保健衛生表彰受賞

このたび、神奈川県保健衛生表彰を受賞いたしました。この賞は、神奈川県が「多年にわたり、県内の医療、環境衛生、食品衛生、薬事、地域公衆衛生など保健衛生の向上に尽力した個人、団体、施設の功績を広く県民に顕彰するため」毎年度行ってお

り、平成26年度は55回目となりました。私は、医療関係功労者(受賞者33名)のひとりとして11月19日(水)神奈川県庁本校舎3階大会議場で行われた表彰式に出席してまいりました。

歴史的建造物として登録有形文化財に登録されキングの愛称で呼ばれる神奈川県庁は、オールデコ調の装飾が素敵で、その

魅力に心酔しながら表彰状を頂きました。

この受賞は私にとって大変名誉であり身に余る光栄だと感じております。

今まで支えていただいた皆様に感謝し、今後はお返ししていくことがこの受賞の責任であると考えております。

(看護学科 前山直美)



大学院ニュース

大学院学位論文公聴会

平成26年度は、平成26年4月22日(火)から平成27年2月19日(木)まで6回にわた

り、神奈川歯科大学大学院の学位申請予定者によって、学内に学位論文公聴会が開催されました。学位論文公聴会は多くの

人に研究発表を聞いてもらうという意図で始まりました。平成26年度も本学教員・医員など多くの方々に拝聴いただきました。

約50名の発表者が、自身の研究の成果を発表しました。聞かれている方々も熱心に耳を傾けていました。

教員紹介

歯学部



教務部教務担当部長
櫻井 孝

本学の更なる教育の充実を目指し、日々継続した努力を続けます。



教務部学生担当部長
菅谷 彰

充実した学生生活を送れるよう微力ながらサポートしていきます。

短期大学部



副学長
長谷 徹

歯科大に続き、短期大学部も教育改革を断行し教育力のアップを目指します。



教務部教務担当部長
藤野富久江

疑問に対し「なるほど!」と感じられる教育環境を目指します。



教務部学生担当部長
林田丞太

安心して学修し、楽しく学園生活を送れるよう全力で支援します。



歯科衛生学科長
鈴木幸江

学ぶ楽しさに気づき、学びを深めるための支援をしていきます。



看護学科長
前山直美

「あこがれ(願望)」を伝染させ、学ぶ意欲を高める教育を行います。

大学院



大学院研究科長
榎木 恵一

自立した研究者を養成するため大学院教員が一丸となり支援していきます。

オープンキャンパス

歯学部 オープンキャンパス	
日 程	体験実習内容
2015年 5月24日(日)	歯科生体材料学って? 歯科治療で使う材料を使ってみよう!
6月28日(日)	歯科材料を使った治療法で模型を作ってみよう!
7月19日(日)	歯を削るってどんな感じ? プチ歯科医師体験☆
8月6日(木)	むし歯の治療を体験しよう! 一足先に歯科医師デビュー
8月23日(日)	小児歯科の歯科医師体験! 乳歯の治療って?永久歯のむし歯予防って?
9月27日(日)	最新の歯科医療を体験しよう! CAD/CAM体験
11月15日(日)	入試対策講座 ～学習から学修への誘い～

※詳細はHPでご確認ください

短期大学部 オープンキャンパス		
日 程	内 容	備 考
6月21日(日)	学科説明 入試説明 体験授業 学内見学 個別相談 先輩と話そう!	2016年度入試要項配布予定
7月19日(日)		歯科衛生学科は附属病院見学
8月2日(日)		入試対策講座&保護者説明会
8月23日(日)		歯科衛生学科は附属病院見学
9月13日(日)		入試対策講座&保護者説明会
3月20日(日)		職業紹介

12:30受付開始 13:00開始

※体験授業の詳細、スケジュールなどは、HP・スマホサイトでご確認ください。

ミニオープンキャンパス

日 程	内 容
10月11日(日)	施設見学/個別相談
11月15日(日)	施設見学/個別相談
12月13日(日)	施設見学/個別相談
1月10日(日)	施設見学/個別相談

12:30受付開始 13:00開始

申込フォーム



ジャカランダフェスティバル ～市民感謝デー～

パワーアップして第2回開催決定! 乞うご期待ください!

☆2015・6・21(sun)☆ 雨天決行

実力派人気ミュージシャンをゲストに、クラシック～ポップスを中心とした親しみやすいコンサートです。エネルギー溢れるステージをお楽しみください!!

その他、地域と連携した企画満載で開催いたします。

